

新陸別地区土地改良事業計画概要書

1 目 的 本地区は、機械化による経営規模拡大や肉牛の導入を行い、安定した農業経営を目指している状況にあるが、地区内の未整備ほ場では起伏や勾配により営農作業に支障を来しているほか、排水不良により作物生育に悪影響を及ぼしている。また、粗飼料の収量及び栄養価の低下や輸入穀物価格の高騰による生産コストの上昇が課題となっている。 そのため、本事業により生産基盤の維持及び効率的な草地への整備を行い、良質な自給粗飼料の生産や飼料基盤の有効活用を促進し、競争力の高い農業経営を目指す。	2												
	(1) 地域の所在		足寄郡陸別町										
	(2) 地域の現況												
	ア 地 形		利別川の上流域に広がる区域で、各支流の沿岸に形成された洪積台地と沖積面、小規模な扇状地からなる										
	イ 土 質		非固結火成岩、非固結水成岩を母材とする風積土、洪積世堆積土、水積土										
	ウ 土 壤		火山灰性土壌										
	エ 気 象		(陸別観測所)										
	平 均 気 温		4.5℃			かんがい期平均気温			14.9℃				
	平 均 降 水 量		791mm			最深積雪深		71cm		平均降水日数		114.2日	
	根 雪 期 間		12月11日から 3月20日			無霜期間		5月17日から 10月9日					
	オ 水 利 状 況												
	カ 営 農 状 況		山間の狭長な場所に開かれていた陸別町の農用地において、土地資源を最大限に活用出来る農業は酪農・肉用牛生産が最適であり、現在では酪農及び肉用牛に係る産出額は本町農業産出額の97%を占めており、本町の基幹作目である。										
	キ 域 域 環 境 の 概 況		十勝・オホーツクの両振興局界に接する十勝東北部の北端に位置し、面積は東西に40.1km南北に20.8kmの総面積608.8km2を有している。気候については、内陸性で冬期間の寒冷が厳しく零下30℃を超えることもある。										
	(3) 地積及び受益戸数												
	地目 区分		田	畑	原野					計	受益戸数		
			(ha)	(ha)	(ha)					(ha)			
	区画整理	現況		309.6	0.1					309.7	戸 17		
		計画		309.7						309.7			
		現況											
		計画											
全体	現況		309.6	0.1					309.7	17			
	計画		309.7						309.7				
3 基 本 計 画	(1) 事業計画内容 草地整備や草地造成、暗渠排水の整備を行い、地域の粗飼料自給率の向上や生産コストの削減、大型機械の有効活用による作業効率の向上を目指す。												
	(2) 環境との調和への配慮 本地区は、陸別町田園環境整備マスタープランの「環境配慮区域」及び「環境創造区域」に位置付けられており、降雨時の工事を避けて土砂や濁水の流失防止に努め、マスタープランの基本方針に従い周辺環境に配慮して事業を実施する。												
4 工 事 又 は 管 理 の 要 領	主 要 工 事 計 画	事業種			受益面積			事業量及び事業内容					
		区画整理			309.7ha			草地整備改良 A = 307.6ha 草地造成改良 A = 2.1ha					
造成又は改良	施設名			管理団体名			管理方法						
される施設の 管理方法等													

5 換 地 計 画 の 要 領	(1) 換地計画樹立の必要性										
	(2) 換地計画樹立の基本方針 ア 従前の土地の地積の基準										
	イ 農用地集団の方法										
	換地区	地帯別、グループ 別団地の設定	個人別換地の方法								
			位置選択	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取り扱い						
	ウ 非農用地の換地方針										
	換地区	種類	非農用地区域 の位置の概略	面積	換地の手法	換地取得 予定者	その他				
				ha							
	エ 清算の方法										
6 費 用 の 概 算	(3) 土地改良法第5条6項に規定する国有地等の編入承認に係る地積										
	換地区	機能交換に係る土地				一般公有地	合計				
		国有地	道有地	市町村有地	計						
		ha	ha	ha	ha	ha	ha				
(4) 換地処分の時期に関する特則											
7 効 用	区 画 整 理	事業種					事業費	負 担 区 分			工期
								国	道	地元	
		区画整理					千円 810,000	千円 405,000	千円 202,500	千円 202,500	R8～R12
		調査費					200	100	100		
計					810,200	405,000	202,600	202,600			
8 事 業 と の 関 係		(1) 事業の効用 ほ場の傾斜緩和、窪地の解消、併せて暗渠排水を実施することにより、生産性及び作業効率が向上する。総費用総便益比は1.25と1.0以上になっている。									
		(2) 事業効果額									
		効果項目	食料の安定供給の確保 に関する効果	農業の持続的発展に 関する効果	農村の振興に 関する効果	多面的機能の 発揮に関する 効果	その他				
		効果額（千円）	41,939				11,995				
		(3) 事業負担の見通し									
		事業費の負担については、増加所得償還率は26.1%と40%以下となるため負担については問題ない。									
		(1) 事業の効用									
		(2) 事業効果額									
		効果項目									
		効果額（千円）									
(3) 事業負担の見通し											
9 事 業 と の 関 係	(1) 農業部門内における他の事業との関係及び調整方法 なし								9 計画概要図 別図のとおり		
	(2) 農業部門外の事業との関係及び調整方法 なし								10 その他		

